

4/22日 (木) フィリピン株式市場

PSEi 6,439.39

前日比 -61.03 (-0.94%)

Key Philippine Indices

	Close	Ch	% Ch
PSEi	6,439.39	-61.03	-0.94
All Shares	3,964.34	-24.49	-0.61
Financials	1,391.60	-8.88	-0.63
Industrials	8,690.36	-13.53	-0.16
Holdings	6,526.58	-67.26	-1.02
Services	1,451.40	+12.19	+0.85
Mining and Oil	9,190.16	-69.83	-0.75
Property	3,136.11	-67.14	-2.10

市場の概要

PSEi(フィリピン総合指数)は、PSEiは米国市場に追随して下落した。

市場の解説

地元市場は日中の安値のまま終了した。

フィリピンではコロナ感染者数が非常に多いことから、米国はフィリピンに「渡航禁止」を発令。

外国人投資家の売りは13日連続で続き7億7,700万ペソ。

取引高は49億ペソに達した。

Market Statistics

Value (in PhP M)

Value Turnover	4,916
Net Foreign Transactions	(777)
Advancers	108
Decliners	92
Unchanged	52

★主要なイベント

4月30日 通貨供給量

▶ 市場の見通し

PSEi: 横ばいの取引(6,400~6,600)

今週のPSEiは、横ばいで推移する可能性が高く、6,400~6,600の間で取引される予想。

ただ、今週は材料が不足しているため、引き続きディフェンシブな姿勢で臨む。

現在、フィリピンでは1日平均で約10,000件の新規症例が発生しており、昨日時点での陽性率は17%。

これにより、首都圏および周辺地域での経済活動が制限され、株価にも悪影響が及ぶ可能性がある。

▶ 本日の銘柄ニュース①

BSP(フィリピン中央銀行)さらに多くのデジタル・バンキング・ライセンスを付与

BSPは、強い需要があると判断すれば、より多くのデジタルバンクの営業を許可したいと考えている。

現在の枠組みでは、デジタルバンクの数は5つが上限となっている。

BSPは正式に3件のデジタルバンクライセンス申請を受理した。

デジタルバンクライセンスの申請を正式に受理したが、いずれも外国企業と国内企業の提携によるものでした。

デジタルバンクのライセンス申請を正式に受理したのは3件で、いずれも外国企業と国内企業の提携によるもの。

上場企業では、PHAのSquidpay TechnologiesがPhil Star Development Bankの60%の株式を取得し、その後、デジタル・バンキング・ライセンスの取得を目指している。

BSPは、2023年までに銀行利用人口を70%にすることを目標としている(現在は29%)。

▶ 本日の銘柄ニュース②

アヤラ・ランド(ALI)は下半期に回復を期待

物流のアヤラロジスティクス(ALLHC)の目標は500,000㎡のGLAにする

ALIは、2021年下期の回復を楽観視しており、1,000億ペソ相当の住宅プロジェクトがパイプラインにある。

住宅プロジェクトが進行中である。

当社の目標は、2～3年後にはパンデミック前のレベルに戻り、V字回復を目指す。

ALI社は今年の設定投資額は8800億ペソで、そのうち44%が住宅プロジェクト、26%が土地取得、30%が土地購入に充てられる。

そのうち、44%が住宅プロジェクト、26%が土地取得、13%が不動産開発に、残りが観光関連に充てられる。

残りは観光関連に充てられる予定。

一方、ALLHCは、国内の10の主要地域での展開を目指している。

2025年までに、全国10箇所の主要エリアで50万平方メートルのGLAを確保し、新たなビジネスプラットフォームとして冷蔵倉庫の開発にも進出している。

(ALI中央目標価格:PhP45.40)

【皆様へ】

デイリーレポートに関して、分からないことや聞きたいことがあれば、気軽にお聞きくださいませ。

会員様限定で現地のプロアナリストを招いて、皆様のためにセミナー解説もしております。

ストックマスターズは、皆様にご参加していただくことで、より良いサービスになっていきますので、皆様からのご質問心よりお待ちしております。